

高雄灯台（台湾）

写真を見せて「どこの灯台だとおもう？」と質問したら、友人はウーンと首をかしげた。「お洒落な灯台だね。もしかして海外？」という返答に対し、台湾南部の灯台であること、日本人によって建てられたことを話すと、ヘーッと興味を持ってくれた。

この灯台は「高雄灯台」とい

カオシオン

設できるようになるのか、と驚く。

台湾といえば、小籠包にマンゴー、煌びやかな夜市と魅力的なもので溢れているが、実は灯台も面白い！ 島を囲むように各地に建ち、見学を可能とするなど、文化財・観光活用にも力をいれている。統治時代に日本が建設した灯台も多く、歴史に触れることができる。こうして海外の灯台を知ること、日本

の灯台の素晴らしさをまた再認識できるのではないだろうか。

月に1回のペースになるが、これから世界の灯台について紹介していきたいと思っている。もちろん、日本の灯台が一番好きだけどね。



日本の統治時代に建設された八角形の煉瓦造り

う。初代の灯台は1883（明治16）年にイギリス人技師によって建設された6等レンズの小型灯台だったが、日清戦争後、日本の統治時代に港の拡張に合わせて灯台の改築を決定。台湾総督府土木局の技師により建設が進められ、1918（大正7）年3月10日に点灯を始めた。

塔は八角形の煉瓦造り。風見鶏の方向表記が東西南北と漢字なもの台湾では珍しい。日本は明治初期にフランス、イギリスから技師を雇って灯台建設を進めたが、50年もすればこんな素晴らしい灯台を離れた地でも建



高雄灯台